

稲刈り体験会・
フォトギャラリー

感染対策しつつ交流図る

ふくとみタイムズ

稲刈り体験会にぎわう

コロナに負けずウソに負けず

福富の味もたつぷり堪能



イベント当日は、カモンケーブルテレビの惣守記者が取材に来てくれました。9月30日から1週間ほど随時、同チャンネルで放映されるということです。

アラフォー隊員

きょーれんの最近の活動



家族連れたち50人
五感で山里の秋を満喫

東広島市福富町上竹仁で9月21日、機械を使わない稲刈りを楽しむイベント「昔ながらの稲刈り体験」があった。地域おこし協力隊として活動するアラフォー隊員・教蓮運営のmikke（みっけ）が主催（自作自演で恐縮です！）。町内外から訪れた家族連れや仲間連れたち約50人が参加し、五感をフル稼働した収穫や地元との交流を楽しんだ。

舞台は地元農家グループ「もちっこクラブ」の協力を得て教蓮が使わせてもらっている3畝の田。5月のイベントで「あきさかり」を手植えしていた。天高く馬肥えまくるほどの秋晴れの下、クラブのメンバーや元メンバーたち8人が指導役を務めた。メンバーの原田信治さんが「食卓の『ごはん』になるまでの工程」などを説明。手鎌を受け取った

参加者はマスク姿のカマキリ男、カマキリ女、カマキリガキンチョとなり、ウソに被害も目立つ田で鎌をふるった。泰藤牧場さん提供のわらを使ったはげ干しは、指導役からしぼり方を教わりながら作業。子どもたちはいつの間にか鎌を置き、カエル取りや鬼ごっこに駆け回っていた。

軽食タイムには、中務秀子さん特製の新米山賊むすび▽福富猟友会の井口宣貞さん差し入れのイノシシ肉料理▽しゃくなげ館看板の豆腐料理&かしわ餅が並び、参加者たちはソーシャルディスタンスを取りつつ、キャットキャとコーンぎみに福富の味を堪能した。

一緒に運営していただいた皆さん、差し入れなどでご協力くださった皆さん。この場も借りて御礼申し上げます。（mikke 教蓮）

米作り見習い 共有農園の準備



◎上戸野地域センターで代打スピーチ（8月20日）

上戸野地域センターで、地域おこし協力隊の活動や新聞記者の仕事について話しました。福富生涯学習支援センターが手がける学習プログラム「生学館（せいがかん）」の一環。講師を務める予定だった方が来られなくなり、急きょ代打を務めました。当初の「笑いヨガ」を楽しみに来場されていた上戸野の皆さん。突然現れた若輩者のヨタヨタ話を最後まで聞いていただき、ありがとうございました。

◎竹仁の農家グループ「もちっこクラブ」さんと稲刈り＆糶摺り（9月上旬）

担い手がいない田などでの耕作を請け負っている竹仁の農家グループ「もちっこクラブ」の収穫作業に加わりました。コンバインで刈り残した稲を鎌で刈ったり、糶摺りを終えた米袋を運んだりしながら、あたたかと収穫作業を学習。広島県内で22年ぶりに発生警報が出たウソにもまみれながら、その被害の大きさを痛感しまし



◎コミュニティ農園mikkeの予定地を案内（9月17日）

前号でお伝えした、「しゃくなげ館」前で開設準備中のコミュニティ農園mikke。その利用意向を示している就労支援施設の通所者やスタッフら13人を現地案内しました。予定していた草取り作業は雨で中止。農地を視察後、わが家に移り互いの自己紹介やカレー作りで親交を深めました。先方は今後、農地準備や作物栽培に加わってくれます。

ふくとみタイムズ 第4号

編集：教蓮孝匡（東広島市地域おこし協力隊、こども農園mikke主宰、中国新聞契約記者）
連絡先：takamasan76@gmail.com / 090-6412-9543 ウェブマガジンmikkeはこちらから
ふくとみタイムズは福富支所、福富町内の各地域センターにも置かせてもらっています。

